

金山町議会だより

第227号

令和6年11月7日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川回字谷地393

☎ 0241-545341

〔9月定例会 会期9月6日～11日〕

- ・令和5年度決算認定・決算審議……………2～5
- ・補正予算・人事・議案等審議結果一覧……………6～7
- ・議員管外視察報告……………8～9
- ・一般質問6人が登壇……………10～16
- ・町民懇談会……………17

奥会津ごっつおまつり
(10月19日-20日開催)

令和5年度一般会計決算

歳入 **36億4,604万円**
歳出 **34億3,817万円** を認定

9月定例会

9月定例会は9月6日から11日にかけて開催され、令和5年度決算認定や一般会計補正予算、条例改正、人事など12議案と報告3件が提案され、原案の通り認定・可決・同意されました。
一般質問は、6人の議員により行われました。

令和5年度決算認定採決



令和5年度 会計別決算額

会 計 名		歳 入	歳 出
一 般 会 計		36億4,604万円	34億3,817万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険（事業勘定）	2億7,473万円	2億5,257万円
	国 民 健 康 保 険（施設勘定）	1億6,483万円	1億6,483万円
	介 護 保 険	6億1,953万円	6億 828万円
	後 期 高 齢 者 医 療	4,866万円	4,864万円
簡 易 水 道 事 業 会 計	収益的収支	1億5,038万円	1億3,988万円
	資本的収支	1億 240万円	1億 93万円
下 水 道 事 業 会 計	収益的収支	1億3,680万円	1億3,628万円
	資本的収支	2,495万円	4,625万円

財政健全化比率

（町の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのもの）

財政は健全と判断（比率が健全化判断基準内）

指 標 名	比 率	健 全 化 判断基準	指 標 の 説 明
実質赤字比率	—	15.0%	一般会計の赤字の大きさを町の財政規模に対する割合で示したものの。黒字決算であり数値がありません。
連結実質赤字比率	—	20.0%	一般会計と特別会計の全会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したものの。黒字決算であり数値がありません。
実質公債費比率	4.7%	25.0%	借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを町の財政規模に対する割合で表したものの。町は良好な状態であります。
将来負担比率	—	350.0%	借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、町の財政規模に対する割合で表したものの。負担が無いため「—」で表示。

決算審議 質疑

令和5年度予算に基づいて執行した事業などの結果について審査を行いました。

一般会計・歳入

収入未済額

問 町税（個人町民税、固定資産税）で370万9千円。滞納者に対してのアプローチはどのような。

答 住民課長 最初に納税通知書発行↓（未納の場合）督促状↓催告書↓電話・戸別訪問↓分納誓約↓財産調査・差押えの流れになります。

町税徴収率

問 令和5年度99・32%。前年度より0・11%減少。評価と今後の対策は。

答 住民課長 町外の対象者が増えていること。督促、催告、分納誓約、差押えなど地道に進めて行く。

質疑

指定管理施設…せせらぎ荘

問 入館者数、売上について。

答 商工観光課長 温泉、食堂、宴会合計で利用者数4万443人。売上2,606万7千円です。



温泉保養施設（玉梨地区）

基金利子収入

問 全体で24万2千円。基金残高から比較して高い利子がある。運用に違いがあるのか。

答 出納室長 国債を購入したことによるもの。利回りの良いもの、安全

安定性があり危険度の少ないものを今後うまく活用して行きます。

一般会計・歳出

大芦線バス運行負担金

問 負担金807万7千円。利用者数と負担金の推移は。

答 総務課長 会津バスの報告によると金山町の分利用者は5,681人（前年度より248人増）。負担金は令和4年度754万6千円で、53万円増加しています。

JR只見線効果は

問 只見線利活用推進費2,380万円。存続の効果は町はどのように評価しているか。

答 企画課長 1,300万円は只見線運営費です。鉄道であることから、広域的な観点で見ることが大事です。県の試算では1年間で波及効果6億1千万円。不通区間であった会津川口只見間の1

日当たり利用者数103人と増えており、効果があったと評価しています。



臨時列車「SATONO号」（大塩駅）

特定地域づくり事業協同組合

問 補助金1,521万円、人数と、定着率は。

答 商工観光課長 令和6年3月末で7名の雇用。年度内12名雇用で5名退職。5名は起業、派遣先での雇用で全員町内に残っています。

JA会津よつば 横田支店現金自動受払機設置負担金

問 設置負担金100万円。利用実績は。受払機

を管理するJAの財務状況を。

答 商工観光課長 設置時点での利用者数は日15人位。その後は確認していません。JAの財務状況は確認していません。

台湾プロモーション事業

問 委託料1,092万円。歳入、国庫補助金（福島再生加速化交付金）435万6千円。今後補助金が無くても継続する覚悟はお持ちか。

答 商工観光課長 只見線を広くPRすることを含め、引き続き続けたい考えです。



星賢孝写真展（台北MRT松山駅）

不用額が多額では？

問 歳出全体で、予算額37億1,778万円。支出済額34億3,817万円。不用額1億8,818万円。予算の執行状況全体について監査委員のご意見は。

答 代表監査委員 個々にそれぞれ理由等はあると思いますが、決して少ない額ではありません。節度ある行政、行財政運営のためにも、監査委員から今後適宜指導して参ります。

主な基金の残高

（令和5年度末現在）

●財政調整基金	13億4,696万円
●減債基金	3億2,291万円
●公共施設整備基金	7億2,737万円
●災害対策基金	1億6,148万円
●少子化対策推進基金	3億1,305万円

排除雪設備整備事業(継続)



住宅の消雪設備工事の一部を補助する事業。

- ①屋根の形状変更 ②消雪用池設置
③屋根に融雪設置 ④消雪用ポンプ設置

町補助金が多い事業で使われました。令和5年度に実施した事業を少し載せてみました。(町民生活、移住・定住、老人福祉、農業・商工業振興、集落維持、教育(学校・社会)、観光振興、JR只見線等多岐分野にわたって使われています。)

(補助金実績は、61事業1億1,559万円)

(金額は事業全体の決算額)



補助金とは・・・？

・町の政策目標に合わせ様々な分野で、個人・団体等の取り組みをサポートし、資金の一部を支給する制度です。(写真は事業の内容をイメージしてもらうため、令和5年度実施のものとは限りません。)

害虫駆除事業(継続)



カメムシ、シロアリ等の害虫駆除の一部補助。一般住宅等で業者による駆除が対象です。(実績37件)

空き家・住宅対策事業(継続)



移住・転居のための空き家改修、世帯員増による既存住宅改修等・空き家解体等の補助。実績は空き家改修6件、住宅改修2件等

特定地域づくり事業協同組合補助事業(継続)



「奥会津かねやま福業協同組合」への事業補助。地域の担い手確保(事業者への派遣)、町内への移住に繋がっています。(現在派遣職員7名)

有害鳥獣対策補助事業(継続)



電気柵の設置費用の一部を補助する事業。個人・共同設置、集落設置が補助対象。

- ① ② 個人設置 ③ ④ 集落・共同設置

老人クラブ活動事業(継続)



135万円

連合会・単位老人クラブ9クラブへの補助。
各老人クラブの活動費に充てられています。
(写真は中川地区老人クラブの花壇の花植え)

みんなの只見線応援事業(継続)



193万円

令和5年6月開催

只見線を活かした地域づくりを応援する事業。
(写真は友好都市埼玉県鴻巣市での「JR只見線再開
通記念」星賢孝写真展・講演会) ほか実績6件

中学校修学旅行支援事業(継続)



42万円

(写真は令和5年7月金沢方面修学旅行)
他に小・中学校、川口高校へのふるさと教育事業補
助として、部活動支援、各種検定等多岐への支援。

地区水道施設修繕事業



47万円

地区管理水道施設への修繕等への一部補助。
田沢、水沼、高倉、三更、坂井が地区水道
(写真は本管修繕を実施の水沼地区配水池)

小型除雪機械整備事業(継続)



690万円

集落内住宅等除雪のための機械購入事業。
非常に役立っています。実績は新車購入3台

農業用機械購入事業(継続)



592万円

集落の農業を継続するための機械購入補助。
認定農業者、集落営農組織、農業法人等対象。
実績はトラクター、コンバイン等購入8件

令和5年度決算審査意見

8月6日から8日まで3日間行われた、決算審査における監査委員の意見をお知らせいたします。

金山町代表監査委員 長谷川 一夫
金山町監査委員 安藤 雅朗

① 町の主要財源である、町税及び使用料等の徴収に努力されていることを評価いたします。今後とも税の公平公正の観点から町全体の問題として捉え、「福島県会津地域地方税滞納整理機構」の機能を活用し徴収に努力していただきたい。



意見を述べる長谷川代表監査委員



事業説明を受ける監査委員

③ 特別会計及び公営企業会計への一般会計からの繰出金が毎年多額になっています。その中で、運営費繰入額も毎年増加している会計があり、内容を精査し繰入額の抑制に努めていただきたい。

② 補助金交付においては、その事業の目的に沿って、補助金が最大限活かされるよう現状に即した視点で適正な執行と適切な指導をしてください。

④ 最後に、町民に基礎的行政サービスを提供する「町職員」は地域住民の暮らしに密着した業務を行っており、高齢化の著しい本町においては頼られている存在であります。職員一人ひとりが健康に留意しながら「住民福祉の向上」のため一層の行政運営に努めていただきたい。



決算審査講評

係長以上出席のもと、講評を伝える長谷川代表監査委員



開始式

(左手前：押部町長、右側：監査委員)

●補正予算（議案審議）

一般会計・歳出

新型コロナウイルスワクチン接種

問 委託料1, 197万円。委託先と接種までの流れは。

答 保健福祉課長 町が実施いたしますが、両沼・会津若松・県医師会に委託します。町国診療所でも接種できます。10月1日以降来年1月末までに1回の接種となります。

おもてなし事業補助金

問 今年度3回目の補正（600万円）。施策的な目標は。（補正後1, 800万円）

答 商工観光課長 町の課題である宿泊施設不足解消等に活用され、短期的にバス1台30人位収容できる部屋数を目指しています。

問 施設整備だけでなく、人材育成等、後継者

も含め考えていかなければいけないのでは。

答 商工観光課長 現在は、移住定住者が宿泊業に興味を持たれる場合が多いです。既存の旅館民宿等は高齢者・後継者の課題があると思われるか今後、検討して参ります。



新規開設の宿泊施設（玉梨）

■人事

◆金山町教育委員会委員の任命に同意しました。

渡邊 明 美
(板下・再任)
任期は10月1日から4年間。

議会から町に7月2日に「電気料金等対策実施を求める要望書」(議会だより第226号10ページに掲載)を提出しました。町は要望内容を検討し9月定例会に補正予算を提案しました。審議結果は議会議員全員賛成でした。今回の補正内容は下記のとおりです。(単位:万円)

事業名	事業内容	事業費
町民生活応援臨時特別給付金	電気料金等高騰に対する支援 対象者 令和6年10月1日(基準日)住所を有する町民(老人ホーム入居者・若桐寮入寮生対象外) 給付額 1万円/1人 問合せ先:保健福祉課福祉係	1,660
省エネ設備更新事業補助金	省エネ設備更新に対する支援(福島県が実施している事業の補完) 対象者 町内事業者で省エネ設備更新時補助 補助額上限80万円 補助率1/2 問合せ先:商工観光課	240

■議案等審議結果一覧 (一部を掲載しました。)

※議長は、採決に加わりません(賛否が同数の場合には議長が採決します)
※賛成「○」 反対「×」

件 名	議決 結果	大竹 一樹	加藤 賢享	安藤 雅朗	加藤 タ子	坂内 譲	栗城 康太郎	横田 正敏	五ノ井 義一
■第5回定例会(9月定例会) 令和6年9月6日～11日開催									
令和5年度金山町一般会計及び特別 会計決算の認定について	認定	○	欠席	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません
令和5年度金山町簡易水道事業会計決 算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度金山町下水道事業会計決 算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	
金山町税特別措置条例の一部改正に ついて	可決	○	○	○	○	○	○	○	
金山町国民健康保険条例の一部改正 について(被保険者証の廃止に伴う 所要の改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度金山町一般会計補正予算 (第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について(診療所X線一 般撮影装置)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
金山町教育委員会委員の任命に関す る同意について(6ページ下段に掲載)	同意	無記名投票により採決(賛成7票、反対0票)							
■報 告									
株式会社社会津かねやま経営状況報告について									

議会会議録・一般質問動画(録画)
町公式ホームページ掲載のお知らせ



↑会議録はこちら



↑動画配信はこちら

議会会議録について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。ホームページには全文記載されていますので是非、ご覧ください。
(金山町ホームページ画面)

暮らしの情報>

金山町議会>

目次

議会会議録

令和6年議会会議録

一般質問の動画配信(録画)について

各議員(質問者)ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。
(金山町ホームページ画面)

暮らしの情報>

金山町議会>

目次

議会動画配信

令和6年一般質問

管外視察報告

総務文教常任委員会(合同)

10日実施

報告する加藤夕子総務文教
常任委員長



愛媛県西予市明浜町 狩江地区「かりとりもさくの会」

西予市に地域づくり組織が27あるうちの1つ明浜町狩江地区「かりとりもさくの会」人口は678人。『せいよ地域づくり交付金制度』、「かりとりもさくの会」の組織体制と、体験民泊を利用した修学旅行受け入れ等の研修をしてきました。

『せいよ地域づくり交付金制度』

地域住民が主体となり、地域の課題解決や活性化に向けて自主的に取り組む活動に西予市が財政支援する制度です。

制度の目的

地域住民の自主性・自立性を高め、地域づくりへの意欲をも高める。地域の課題解決や活性化に貢献する。地域コミュニティの活性化を図る。

交付金の種類

①基礎型交付金…(27地区7,000万円 配分



研修風景

(均等割:5、人口割:3、面積割:2)

②手上げ型交付金…(27地区3,000万円)

地域づくり組織が、地域の実情に合わせて自由に企画した事業に対して交付される交付金です。地域の創意工夫を最大限に引き出すことができます。

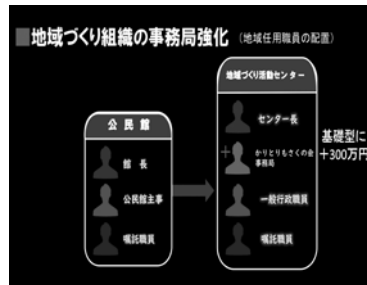
制度のメリット

- ・地域住民が自ら企画・実施するため、地域に根ざした活動が期待できます。

- ・手上げ型交付金では、多様な事業に対応できるため、地域の実情に合わせた柔軟な活動が可能で

- ・地域住民の交流を促進し、地域コミュニティの活性化に繋がります。

明浜町狩江地区「かりとりもさくの会」の特徴



公民館から新組織へ

・住民参加型のまちづくり「かりとり」「もさく」という言葉に象徴されるように、住民が主体的に地域に関わり、地域づくりを進めている点が大きな特徴です。

・公民館との一体化

行政運営の公民館と民間団体が融合した新たな形のまちづくりモデルを確立している点が画期的です。より効果的な地域活性化が期待できます。

- ・多様な活動…野菜づくり、景観保存など、多岐にわたる活動を行っており、地域の様々なニーズに応えています。

- ・組織の柔軟性…11の会が一つの組織として連携しており、状況に応じて柔軟に活動できる体制が整っています。



熱心に説明する市担当者

体験民泊を利用した修学旅行受け入れ

体験や民泊を通して、食文化や生活文化、農作物の価値、家族の絆、親の愛、人の愛を伝えていきます。「簡単、楽、楽しい、便利、安全、新しい」ではなく「大変、難

しい、手間暇かけて、危ない、昔ながら」な物の中に、私たちの伝えたいものがあります。

2021年の開始時は3校だった受け入れも、2024年には11校と1000名を超えるようです。スタート時には、関西方面だった学校も、埼玉、神奈川など関東からも多くの学校が訪れるようになっていきます。また、修学旅行の誘致、受け入れ体制も整えられています。



みかん収穫体験

以上のように、当町も取り組んでいる、農泊、民泊や、小学校統廃合、地域活性の新たな可能性、行政と民間団体の連携等、大変学ばべきところの多い視察研修となりました。

常任委員会

産業建設常任委員会・

7月8日～



報告する坂内
常任委員長 讓産業建設

高知県梼原(ゆすはら)町 「空き家住宅(中間管理住宅)」について

梼原町は、愛知県との
県境の町。四国山地の山
間部に属し、四十万十川が
流れる人口3,200人の
町。



隈研吾氏設計の公共施設
(梼原町役場)

視察の目的は、「空き
家活用促進事業」の取り
組みを、直接見聞きし、
肌で感じて、金山町でも
金山に合わせた「空き家
活用促進事業」を進めら
れるのではないかを探る
ための視察。

1、移住・定住者に向け
た住環境への支援策につ
いて
①空き家活用促進事業
(平成25年度)

空き家の資源を有効活
用し、移住定住の受け皿
づくりを進め、地域の活
性化・集落の維持につな
げる為に、この事業を始
めたようです。町が所有
者から借り上げた住宅を
整備し、管理運営を行い、
移住定住者等に使用して
もらう。なお、改修は水
場を基本とし、高知県住
宅耐震化促進事業補助金
を活用し、国の空き家対
策総合支援事業補助金を
使用。設立当初は改修費
用が設計料を除いて約
1,000万円程度だった
が、町が賃貸させる物
件のため、耐震改修が必
要となり、現在では約1,
500万円程度まで改修
費用の上限が増えていま
す。なお、所有者と町と
の契約期間は、10年若し
くは12年。原則無償借上。
契約満了後に空き家所有
者に返還しています。

②様々な住環境への支
援・持ち家住宅への支援
等



研修風景

梼原町では、雇用の場
の紹介や林業が盛んな町
として、町産材を活用し
た住宅に対し、200万
円の補助があり、その他
様々な住宅補助の取り組
みを進めています。
また高知県から地域支
援企画員として派遣され
ている職員と、移住定住
コーディネーター等が移
住・定住を希望されてい
る方からの様々な不安や
心配事の解消に向けて、
関係各所と連携を密に
し、地域情報の提供や身
近な相談活動等を行って
います。
現地を案内していただ
いた若い職員の方は明る
く笑顔で自分の町に自信
を抱き説明している姿に
も感動して帰ってきました。

③区を基本に集落活動セ
ンターを設置し、それぞ
れで支え合う

梼原町内の6区それぞ
れが、各地区の特徴を生
かし、「今、やれること
をやる!」をモットーに
集落維持活動や収益事業
もこのセンターを拠点と
して進めています。

総務省からの集落支援
員制度も活用し、集落維
持・発展に協力いただい
ています。今回はその中
の「越知面(おちめん)地
区」と「四万川(しまがわ)
地区」を視察しましたが、
双方ともに前向きで、出
来ることは出来るだけ自
分たちでやりきるという
姿勢に刺激を受けまし
た。地区での活動が今で
は2区でパート従業員も
約15人の雇用を担うまで
になっています。共通に
おっしゃっていたのが
「町民のやる気を出させ
るために、その時の町長
が地区に任せるから、自
分たちのやりたいことな
んでもやってみたいとい
いじゃないか、そのための
お金は町で何とかするか



地域運営のキジ肉加工施設

ら、やる気が大切なんだ」
と町民を信じやる気のあ
る所には、それなりの支
援をしてくれたと、みん
なが言っていました。そ
こから、本気で頑張らな
きゃと力が入ったそうで
す。

国・県の制度や取り
組みは色々ありますが、
一番大切なのは町
民と一体になった町づ
くりが出来るか、町民
を巻き込んで本気にさ
せるかの雰囲気作りが
大事だと感じました。
金山町にも集落を中心
に様々な活動が活発に
動き出し、金山町独自
の「空き家活用促進事
業」が始められるよう、
学ばべきところの多い
視察となりました。



建設工事中新ごみ焼却施設(中央:R6.6)
令和8年3月稼働予定(会津若松市)
左が既存ごみ焼却施設

栗城康太郎議員の 一般質問



金山町ごみ減量実施計画について

ごみ減量化は進んでいる——町長

会津若松地方広域市町村圏整備組合(会津若松市、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、湯川村、柳津町、三島町、昭和村及び金山町の10市町村で組織され、ごみ処理・し尿処理の共同処理、広域消防等を行っている組織)では、新たなごみ処理施設の建設を進め、令和8年3月に新ごみ焼却施設が稼働予定である。

問① 現時点で金山町では新ごみ焼却施設の処理能力の根拠でもある『ごみ減量実施計画』の目標を達成できていません。取組み・目標値の達成状況について伺う。

答 町長 令和2年3月に、構成市町村がごみ減

量化を進めるため「ごみ減量実施計画」を策定、その目標に沿い、各市町村のごみ減量施策が進められています。

令和5年度までの3年間で、令和7年度の目標に対し広域圏全体で約51%の目標にしか到達して

いません。あと2年間で目標達成することは、非常に厳しいものがありますが、着実にごみの減量化は進んでおります。

問② 町では『ごみ減量実施計画』の目標が達成できない場合、『家庭ご

み有料化』を検討すべきではないか。

答 町長 現在のところ有料化の考えはありません。一般家庭ごみの有料化の前に、最近増えている空き家整理による持ち込みゴミについての検討が必要と考えます。

空き家活用による移住促進について

人口の社会増加が必要——町長

現在進行中の第五次総合計画において、人口減少の抑制を最重要課題と位置付けています。町長の認識を伺う。

問① 定住人口を維持・増加させる移住促進策として、『農地付き空き家』の情報提供が有効と言われるが、当町の取組み状況は。

答 町長 町は空き家の有効活用を図るため、空き家バンク制度を立ち上げ、町のホームページで

空き家の物件情報を公開しています。情報には、所有者の希望により特記事項として農地等の情報が記載されているものもございますが、「農地付き空き家」と題した情報提供にはなっていない状況です。

問② 町が空き家を取得又は借上げ、基本的な改修を施し、移住者に安価な利用料で貸し出すことが、空き家の活用促進

と移住促進に資することと大きいと考えるが。

答 町長 町内の空き家を取得し一部改修し、移住体験や共同住宅などの目的に貸し出し等を行う事業を行いました。また近年、質問にある手法で空き家を活用し、移住促進に効果を上げている自治体があることは認識しております。

興味深い手法でありますが、対象建物の選定、需要の有無、使用料の設

議員のひと言

他町村の後追いではなく、一歩先へ進みませんか！



台湾プロモーション事業による訪問
新北市金山区役所での歓迎式(R6.2.22)



ばん ない ゆずる
坂内 議員の
一般質問

台湾プロモーション事業について

引き続き実施するー町長

町では、昨年度から「台湾プロモーション事業」

として、星賢孝さんの写真展を実施しました。金山町と同じ名前の、台湾新北市金山区との交流も始まったようです。

台湾とどのような交流を考えているか。

町に物産コーナーを設置し、特産品の販売を通して施設を充実させ、観光客等の呼び込みにつながればと思っています。

には、雇用の確保につながることも目標となります。

山町と同じ名前の、台湾新北市金山区との交流も始まったようです。

た、写真を通して情報発信してきた写真家星さんの人気の高さに驚き、JR只見線は、当町にとって重要な観光資源であると再認識しました。

度も引き続き実施します。10月には、新北市金山区より来町し、当町の観光関連施設の視察を行い、道の駅で金山区のPRを行う予定です。これまで、道の駅では台湾産のパイナップル販売を行った経過があり、道の駅内に台湾物産コーナーの設置について考えて行き

ます。いずれはお互いの町に物産コーナーを設置し、特産品の販売を通して施設を充実させ、観光客等の呼び込みにつながればと思っています。

問 県内の大玉村、北塩原村では村民を集め台湾訪問ツアー、村民の翼を行っているようですが、町での考えは。

問① 町長は台湾に行ってみて実際に肌で感じた感想は。

問② 観光PR以外で、

問③ 「台湾プロモーション事業」の最終目標は。

問 県内の大玉村、北塩原村では村民を集め台湾訪問ツアー、村民の翼を行っているようですが、町での考えは。

問 県内の大玉村、北塩原村では村民を集め台湾訪問ツアー、村民の翼を行っているようですが、町での考えは。

問① 町長は台湾に行ってみて実際に肌で感じた感想は。

問② 観光PR以外で、

問③ 「台湾プロモーション事業」の最終目標は。

問 県内の大玉村、北塩原村では村民を集め台湾訪問ツアー、村民の翼を行っているようですが、町での考えは。

問 県内の大玉村、北塩原村では村民を集め台湾訪問ツアー、村民の翼を行っているようですが、町での考えは。

新教育長を迎えて

私の思いは3点ー教育長

し、来年3月の横田小学校の閉校、4月の新かねやま小学校の開校など、重要な案件だらけです。新教育長の意気込みと、今後の町の教育ビジョンを伺う。

にあたり3点について取り組んでいきたい。

ーバル化に対応した世界に通じる児童生徒の育成、確かな学力の育成が必要です。

門家による調査・整理を進め伝統文化の継承や後継者育成をしていきたいと思っています。

重要な案件だらけです。新教育長の意気込みと、今後の町の教育ビジョンを伺う。

1点目、ふるさと教育の充実です。金山町に誇りを持てる子どもを育てることができ、町への定住がなされると思います。

3点目、次世代につながる伝統文化の振興です。町内の遺跡や古民具などの資料が多数存在します。文化芸術にふれ、専

議員のひと言
台湾との交流の要は「人」です。末永い相互交流を期待します。

答 教育長 教育長就任

実現に向けてです。グロ

す。文化芸術にふれ、専

議員のひと言
台湾との交流の要は「人」です。末永い相互交流を期待します。



金山町多目的共同住宅(上横田地区)
冬の高齢者共同住宅としての利用は少ない
柔軟で有効的な利活用が求められている

おお たけ かず き
大竹一樹議員の

一般質問



金山町多目的共同住宅の有効活用を

工夫していくー町長

問 平成30年から運営されている上横田共同住宅は、冬季間の自宅での生活に不安のある高齢者の利用が無かったことや、町民団体や移住希望者などの需要を踏まえ関係条例を見直し、より利用しやすい施設にしていくなきと考えるが。

答 町長 冬季間は、高齢者共同住宅として、一人暮らし等の自立した高

齢者が共同で仲良く支えあい、健康的な生活を送れることを目的とし、冬季間以外は金山町に移住・定住を希望する方々が気軽に利用していただくほか、町民の方々が各

種活動を行う時に利用する等、多目的に利用することができるとして、高齢者共同住宅としての冬季間の利用は令和2年度2名、令和3年度3名の利用があり、その後

の利用はありません。移住、定住や地域の行事などの内、宿泊を伴う利用者は、コロナ禍には利用が控えていたが、最近では利用が増えている状況です。

このような状況も踏まえ、当初の目的にとらわれず、多目的に利用いただけるよう工夫してまいりたいと思います。

山林を守る担い手の確保、育成はどうする

担い手確保に努めるー町長

問① 町の農林業の振興や町民の安心安全な暮らしには森林整備や有害鳥獣対策が欠かせないものとなっている。人口減少や高齢化、業務が複雑多様化する中で山林を守る担い手の確保をどの様に目指していく考えか。

答 町長 町内で林業に従事している方々は、年齢層が高く将来にわたる継続が心配される状況にあります。退職期を迎えた方々が新たな就業の場として林業に従事している状況もあり、若年層

の方々が次の世代の担い手となるよう、地域おこし協力隊の募集などを通じて担い手確保に努めてまいります。

の指導などを行い、担い手を持続的に確保・育成したいと考えております。今後も、福島県猟友会両沼支部金山分会や有識者からご意見をいただきながら、一人でも多くの担い手の確保に努めてまいります。

問② 過去に複数名在籍していた有害鳥獣対策での地域おこし協力隊は定着していない。この分野での担い手確保の課題をどの様に捉え、どう解決していくのか。

答 町長 狩猟免許を取得していた地域おこし協力隊は3名となります。うち2名は、当初から有

害鳥獣対策の担い手については、近年、狩猟免許の取得を希望する方が少ない状況にあります。町では、狩猟者資格取得支援事業などにより免許取得や維持に対する経済的負担の軽減や捕獲技術

の指導などを行い、担い手を持続的に確保・育成したいと考えております。今後も、福島県猟友会両沼支部金山分会や有識者からご意見をいただきながら、一人でも多くの担い手の確保に努めてまいります。

議員のひと言
次世代の担い手を発掘、育成しよう！



川口高校生による環境美化活動
JR只見線会津川口駅清掃風景



よこ た ま さ と し
横田正敏議員の

一般質問

高齢になっても住み慣れた家に健康で安全に住み続けるには

安心して暮らせる町に——町長

問① 町では住宅支援事業を実施しています。対象工事は手すりの取り付け、段差の解消、洋式トイレへの取り換えなど介護保険にあるメニューばかりです。高齢者にやさしい補助対象メニューを増やして欲しい。

答 町長 介護保険事業に該当しない方の住宅を対象に、町単独事業で令和5年度より高齢者居宅生活支援事業を実施して

います。事業内容は、始まったばかりでもあり、今後広く町民の声を聞き、福祉関係者と相談し、より良い制度設計を考えて行きたいと思っています。

問② コロナ感染拡大の影響でデイサービスが休業したりで、利用者の通所控え、要介護者の健康悪化が懸念される。今後医師を中心に看護師、保健師でチームをつくり巡回する仕組みをつくれな

いか。

答 町長 現在は、令和2年7月に開設の奥会津在宅医療センターがその任を担っています。要介護者に限ったことではなく、在宅での診療等が必要な方について、医師による訪問診療、看護師による訪問看護を行ってお

り、町での利用者は8月末で36名です。また、訪問診療等を利用されていない方については、地域包括支援センターや、保健師が必要に応じ訪問を行っております。

新教育長に聞く教育に対する思いは「リーディングスキル」(正確に読み取る力)に取組む——教育長

問① 町の教育目標は「郷土を担う心豊かな人間形成」です。教育現場でどう取り組む考えか。

答 教育長 6歳児までの乳幼児、12歳までの小学生、15歳までの中学生、18歳までの高校生の4段階に分けてそれぞれ目標を設定してそれぞれの成長段階に応じた活動を行い、金山町の自然・文化・行事・地域のひとのふれあいなどを体験することで、金山町の良さを知り、金山町に誇りをもつ児童

生徒の育成に取り組んでおります。

その改善に向けては、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業をすることが必要です。

問② 「十代を失うものは一生を失う」とも言われるが、中学校教育で最も重視されるべき課題は何か。解決するための方策は。

答 教育長 一番の課題は、自分で考えないで、みんなやっているから、先生からの指示だからというように、自分の意志や目的意識がなく、ただ何となく学校生活を過ごす

状況です。

問④ 今後、川口高校の存続に向けた取り組みは。

答 教育長 現状は、在籍生徒70人のうち、会津地区から44%、会津地区以外で福島県内から24%、県外から32%という状況です。

議員のひと言
町教育に新風を！



整備が進む農村公園(中川地区)
子どもが安心して遊べる場になります

あん どう まさ あき

安藤雅朗議員の

一般質問



実効性のある持続可能なまちづくりを

計画的に進めるー町長

問① 第2期金山町総合戦略においても町人口が減り続けていくことが予想されている。人口減少を前提とした町づくりを進めるべきと考えるが。

答 町長 人口減少が進んでも行政サービスの水準を落とすことなく、住民が公平にサービスを受けられる町とすることが重要です。各世代や住民生活に関連する各分野で時代に対応した施策を行

うとともに、人口減少に対応した集落支援や、行政の在り方などを模索する必要があると考えています。

人口減少を前提とした町づくりは、全国的な問題であり難しい課題です。様々な事例を研究し、各方面からのご意見を伺いながら進めたいと考えています。

問② 高齢化率が県内一(60・8%)の高さとなっている。高齢者の健康管理ひいては健康寿命の延伸は重要課題と認識しているが町の所見と対応策は。

答 町長 福祉事業では、安心して暮らしていただける環境づくりとして、高齢者居宅生活支援事業で宅内の段差解消や手すり設置による転倒予防対策、冬季間の除雪対策として排除雪設備設置事業を行っています。

保健事業では、毎年実

施の総合健診は、自分の健康を自分で守る大変重要な目安の一つです。毎年受診することで体の変化を確認することができま

す。毎年の受診率のアップを図る取り組みを進めてまいります。また、健診後の健康相談会もきめ細やかに実施したいと考えています。

他に介護予防事業、健康ポイント事業、その他各種スポーツ行事、公民館行事等への参加も、健康管理や良好な人間関係を築くための一助と考えま

す。これらの、取り組みが効果的に推進されるのが、健康寿命の延伸につながるしていくものと考えています。

問③ 少子化に対応するために安心して子供を産み育てることができ環境を整備することが重要と考えるが、今後の取り組みについてどのようなか。

答 町長 妊娠を望む夫婦に対する支援として、不妊治療助成事業及び不育症治療助成事業の実施。また、妊娠後出産までの検診等に対する支

援、出産祝い金の支給、出産後の母親及び乳幼児の産後ケア事業、3歳までおむつ代相当額の支給、保育料の無償化、学校給食費の無償化等、経済的な支援を主として様々な事業を実施しています。また、妊娠中、子育てに関する困りごなどについては、随時保健師による訪問や、相談を行

っています。

今後引き続き安心して生み育てられることができる環境整備に努めていきたいと考えています。

問④ 地域経済の市場は人口減に伴い縮小していくことが見込まれる。町の所見は。また、限られた財政の中で計画的戦略

的に取り組む必要があると考えるが。

答 町長 経済の活性化には町内での経済循環と町外からの外貨獲得が重要だと考えています。

町では、住民の生活支援と消費拡大を図るため、プレミアム率の高い「妖精の里商品券」の発行を実施しています。只見線全線運転再開以降、町を訪れる方も増えており、従来の産業支援と、新たな産業・起業などに対する支援も行っています。

町の財政には限りがあります。その時々的情勢を考慮し、各種計画の見直しなどを行い、計画的に持続可能なまちづくりを進めたいと考えています。

議員のひと言
人口減という現実に向き合い地域活力を守る施策を！

国道289号開通について

広域的な取り組みを計画——町長

問 国道289号（八十里越）の開通が2026年度から2027年度に予定されています。

問① 開通に向け、町ではどのような準備を進めていますか。

答 町長 今年度は、新潟県のテレビ・ラジオを活用した情報発信と観光パンフレットを新潟県内の道の駅に設置することを予定しています。また、開通を盛り上げるために

問② 他の自治体との連携について。

答 町長 内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金を福島県側は南会津町、只見町、金山町、新

潟県側は三条市、魚沼市が一緒になり申請を行いました。事業内容は、魅力発信のための観光セミナー開催や商品開発、受入体制の整備などに取組む計画で今後、具体的な取組について会議を重ねながら広域観光振興に向けて話し合っていくと考えています。

横田小学校跡地利用について

一定の時間をかける——町長

問 廃校利用は、全国でも多くの学校が廃校になっており深刻な課題です。廃校初年度から慌ててスタートする必要はないと考えます。伝統行事の維持、地域内行事の維持、防災・減災、自助・共助等複合的に考えていく地域づくりの拠点づくりが必要ではないかと考えますが。

答 町長 令和6年度末で閉校となることから町では、本年2月に「横田小学校跡地等検討会」を立上げ、小学校跡地の利活用及び横田地域の振興

策について地域の幅広い分野の皆様に見解を交わしていただき、過日、報告書をいただきました。今後、跡地の具体的な活用方法について、民間からの意見募集なども含め、事業の実現性や持続可能性、運営体制など様々な視点から検討を重ねる必要があると考えています。これらのことから、跡地活用の具体的な事業決定や事業開始には一定の時間を要することが予想されますので、閉校初年度からの利用は考えておりません。ただ、

住民への体育館やプールの開放、防災倉庫としての活用など、校舎等の暫定一時的な活用については、早急に考える必要があると考えております。校舎跡地の利活用については、校舎の利用に留まらず地域全体の振興と活性化、それを持続的に運営していく組織づくりを念頭に考える必要があります。人口減少・高齢化が進む町では、地域の自主的な組織づくりや組織運営は難しい課題ですが、住民自らの意思による取組みが地域の活性化

加藤議員からは、この他に「リゾート地としての沼沢湖」の質問がありました。

議員のひと言
詳しくはYouTubeでぜひご覧下さい



国道289号整備中の只見町入叶津集落
新潟県三条市とつながり人の流れが生まれます

議会傍聴者の声

一般質問に24の方が傍聴においてになりました。議会傍聴者の声を伺いました。

議会傍聴

本議会は一般に公開され、個人、団体だれでも傍聴できます。町民生活に直結した問題などが審議されますので、町政を身近に知るためにも是非、おいでください。



多くの方に傍聴していただきました

議会傍聴者の声



(本名・目黒 浩さん)

私は本名出身で、来年1月にUターンを予定しております。現在金山町がどのような状況かを知りたくて議会を傍聴させていただきました。金山町がどの方向に進もうとしているのか、議員の方々がどのような課題認識をされているのかを確認できて大変有意義でした。4日間全ての本会議を傍聴いたしました。もう少し工夫をした質問や、別視点からの答弁もあったのではと感じるところもありました。

9月議会は決算議案の審議であり、本来なら予算議案審議から傍聴させていただくことにより、予算をどのように実施したのかを確認することが

できると思っておりま
す。今度は町が提案する
事業(予算)に対する議員
の方々の質疑や答弁を聞
くことができる来年の3
月議会から傍聴したいと
思っております。



(上横田・
滝沢セツ子さん)

こまどり学級で議会傍
聴に参加して
一、高齢になってもずつ
と住み慣れた自宅で住み
続けるために介護保険以
外にも町独自で支援事業
を実施して下さっている
こと。

二、冬季間自宅での生活
に不安がある高齢者に対
し、安心確保の場として
上横田共同住宅事業など
色々町と議会の皆さん
で高齢者対策がなされて
いることに心強く思っ
ております。高齢者住宅が
川口地区にも設置されて

いると利用者が助かる
と思います。

これからもますます高
齢者が増えると思います
が宜しく願います。
私も一人暮らしが長くな
り、体に不調を感じられ
生活に不安を感じる年
になりました。高齢者
に対する思いやりのある
質問が聞けたことが良
かったです。

(川口・
五十嵐ミイ子さん)

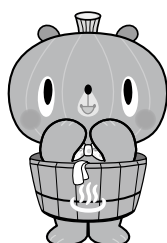
最近どこの市町村でも
「ゴミの減量」「人口減
少」が問題になっていま
すが「ゴミの減量」につ
いては家庭を守る一員
として特に感じていま
した。県下一の高齢者の
町ですが二十代の若い
議員さんの誕生もあり、
私も高齢者の一人とし
て毎日を元気に過ごす
ためには見聞を広める
ことも大切だと思いま
す。こまどり学級に参
加していません。一人
ではなかなか参加でき
ない議会傍聴を毎年参
加できることを楽しみに
しています。

(川口・市川里美さん)

毎年こまどり学級で議
会傍聴をさせて頂いて
おります。議会傍聴は
町の色々な政策を議論
する貴重な機会だと思
います。普段入ること
がない議場に入り、真
剣な議論を傍聴する
ときは、身が引き締
まる感じがします。

今回は、町の観光や
ゴミの削減など色々な
議論がなされ圧倒され
る場面もありました。
現在は、YouTubeでも
視聴できるそうです。
「開かれた議会」とい
うことで、沢山の方に
議会を傍聴していただき
町の政策に興味を持
ってもらえたら良いと
思います。

「皆様、ありがとうございます
でした。」



町民との懇談会

金山町議会では、町民の皆さんとまちづくり、地域づくり、地域課題等について懇談し、議員活動に活かしていくため今年度「おらほの議員としゃべってみませんかの会」を各地区で予定しています。玉梨地区で開催された内容について紹介します。

議長あいさつ

「開かれた議会」を目指している中で

● 町民の声を町政に届けるには、議会から地域に出向いて地域の皆さんの思いを教えていただくことが大切です。その思いで会を開催しました。

少子高齢化に対する対策をどの様に考えているか

(地区からの質問)

【答】 少子化対策は、安心して子どもを産み育てる環境整備が大切。子育て世帯の経済的支援、不妊治療などの支援、保育料無料化を始めとする「学びの18年」の事業を進めており、更なる充実を要

望して行きます。

高齡化対策は健康管理、健康寿命延伸のための総合検診などの実施、高齡者居宅生活支援、除排雪事業を行っているが、きめ細やかな支援策についても今後要望して行きます。

集落にある用水路 資材等の早目の提供を

【答】 素掘り水路からコンクリート側溝へ、側溝に維持管理軽減のための蓋掛けと町からの材料支給

による住民参加の作業等地区的負担は大変だと思えます。以前と比較すると農地、林道、町道の修繕費、資材購入費は多額の予算を確保し、地区要

望の早期実施に努めているようです。地区で必要な時に支給できるように体制についても働きかけを行います。

町の補助事業は3年程度のため尻切れトンボ状態が多いようにだ。継続した支援をできないか

【答】 町補助金は町民生活、移住・定住、老人福祉、農業・商工業振興、集落維持、教育、観光振興、JR只見線など多岐にわたり使われています。目的により支給年限の延長も必要であり担当課に申し入れいたします。

(参加者の意見)

農業する圃場が無い

農業に興味を持ち移住を考えている方が増えている。カスミソウ栽培の圃場が少ない。圃場を増やすことが必要。

赤カボチャ合格品以外の利用を考えて欲しい

合格品は生で販売できるが、合格に近い不合格品の利用方法を考えて欲しい。



玉梨地区で収穫の赤カボチャ

小さい声を拾って下さい

大勢の方が参加しているが女性、若い人の参加が少ない。どうしてなのか。言いたいことはあるが。議員の方考えてください。あげられない声を、小さい声を拾ってください。

他に多くの声を聞くことができました。これらの議員の活動に期待してください。



9月13日 玉梨集会所で開催
議員8名全員参加で意見交換しました。

議員との懇談会「おらほの議員としゃべってみませんかの会」開催しませんか

金山町議会議員は、昨年12月に改選されました。

8名の議員の当選回数も1～2回と少なく、議員の平均年齢も55歳と比較的「フレッシュ」な議会となっています。

そこで ● 高齡化率の高い町での町づくり、地域づくり ● 若者が少ない町での町づくり、地域づくり
● 持続可能な町づくり、地域づくり ● 日頃考えている提案、アイデア などについて

地区の皆さんからのご意見、ご要望をお聞きするため、地区に出向いて「おらほの議員としゃべってみませんかの会」の開催を計画いたしました。今年度は行政区単位の開催となります。開催を希望される地区の行政区長は金山町議会事務局(tel 54-5341 fax 54-5345)までご連絡願います。



窓

秋霜烈日

『ちよつと（無罪確定を）わかつているのかなと思う時もあるんです。まだ安定いたしませんね。だからなるべく多くを語っていつて厳にはわからせるようにしたいと思っています。そのうち選挙権も回復すると思います。そうすると一般市民として皆さまのお仲間入りができると思います。』袴田巖さんの姉、ひで子さんは静岡放送の取材に対して気丈にそう答えていました。

いわゆる袴田事件の再審により2024年9月、静岡地裁は袴田巖さんに無罪を言い渡し、10月9日に無罪が確定。事件及び逮捕から58年が経過していました。袴田さんは半世紀以上、死刑囚としての生活を余儀なくされました。

再審請求手続きについては刑事訴訟法において規定されていますが、裁判官に広い裁量が与えられているため手続きは担当裁判官次第になる、再審請求審における証拠開示のルールが規定されていない、為検察側にとって不利な証拠は開示しなくてもよい、再審開始決定がなされても検察官が不服申し立てを行い再審手続きが円滑に進まない、等の問題をはらんでいます。えん罪は、有罪とされた方やその家族の人生を大きく狂わせ、時にはその生命をも奪いかねない最大の人権侵害です。

厳しい寒さを秋の霜に、厳しい暑さを夏の日差しに例えた四字熟語【秋霜烈日】は検察官の職責の比喻として用いられます。日本では、被疑者の起訴、不起訴は検察官個人に与えられており、公訴権を持つている検察官に対し人を罰する仕事の厳しさを教えていると言われています。検察官には矜持をもって職務を遂行していただきたいと思っています。

そして、衆議院が10月9日解散しました。国会は日本で唯一の立法機関です。無実の人を誤った裁判から迅速に救済するために再審規程の見直しを早期に実現するよう、まさに超党派での議論をしていただきたいと思っています。

（安藤雅朗）

町村議会議員研修会

10月25日、郡山市のビックパレットで開催された研修会に参加し、「議会改革・議会の活性化について」「今後の政局・政治展望」について研修してきました。

27日が衆議院議員総選挙投票日ということもあり、今後の政局について興味深い話も多々ありました。

また、議会のデジタル化、議員への参加機会が保てるための環境づくりの必要性を再認識してきました。



研修会参加の議会議員

ごあんない

次回の定例会は、12月6日ごろ開会の予定です。

一般質問は12月9日ごろからとなります。

「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 五ノ井義一

〔編集委員〕

委員長 横田 正敏

副委員長 安藤 雅朗

委員 坂内 一樹

委員 大竹 一樹

次回、金山町議会だよ

り第228号は、2月上旬ごろ発行の予定です。